

現場で学ぼう！知床の課題解決にチャレンジ

Shiretoko Nature Campus 2019

知床ネイチャーキャンパス 2019 を開催します！

知床実習 9月 11日 [水]・12日 [木]・13日 [金]

実習フィールド：北海道斜里町の知床世界自然遺産地域と周辺地域

宿舎：ホテル知床（北海道斜里郡斜里町ウトロ香川 37）

事前オンライン講義 9月 7日 [土]・8日 [日]

講義はオンラインで行います。両日とも午後（13：00～18：00）開催

在宅（自宅等）で受講いただいた後、知床の現地で実習・演習を行います。



知床ネイチャーキャンパスは、科学的な野生生物保護管理の先進地である北海道・知床を舞台に、この分野の第一線で活躍する大学教授・専門家が講師を務め、講義、野外実習、グループワークなどを体験する教育プログラムです。

4回目の開催となる今年は、知床の保護管理上の課題である、「ヒグマと人との関係」、「森林再生・河川生態系復元」をテーマに、講義と実習を受け、解決策を考えるプログラムです。

定員：24名（先着順）

受講料：3,000円（資料代・実習費・保険料）

参加費：学生 17,000円 社会人 21,000円

（3泊分の宿泊費、食費、交流会費を含みます）

※オンライン講義（必修）の受講にはパソコン（カメラ・マイク付）が必要です。タブレット・スマートフォンでも可能ですがパソコンを推奨します。ネット環境があり静かで集中できる場所であれば受講可能です。知床実習の集合は11日午前8時45分宿舎、解散は14日午前8時45分です。知床までの往復は各自手配・負担下さい。

主催 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

当財団は、野生生物と人間社会との共存を担うエキスパートを育成する高等教育機関を知床に開設することを目的に活動しています。このプログラムの実施成果は、実現を目指す教育機関のカリキュラム作成に生かされます。

講師紹介 (敬称略)



愛甲 哲也

北海道大学大学院農学研究院准教授
知床世界自然遺産地域科学委員会委員
(適正利用・エコツーリズム WG、ヒグマ・エゾシカ WG 委員)



石川 幸男

弘前大学白神自然環境研究所教授
知床世界自然遺産地域科学委員会委員
しれとこ 100 平方メートル運動・森林再生
専門委員会議座長



ト部 浩一

北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場主査 (資源解析)
知床世界遺産地域科学委員会・河川工作物アドバイザー会議委員



敷田 麻実

北陸先端科学技術大学院大学教授・
知床世界自然遺産地域科学委員会委員
(適正利用・エコツーリズム WG 座長) 専門は地域資源戦略など



石名坂 豪

公益財団法人知床財団 主任研究員
(保護管理部長)・博士 (獣医学)
大型哺乳類の保護管理に従事



野別 貴博

公益財団法人知床財団 主任研究員 (海洋河川事業係長)・博士 (水産科学)
知床の魚類調査や保護管理に従事



高橋 満彦

富山大学人間発達科学部教授
知床世界遺産地域科学委員会適正利用
エコツーリズム WG 委員
専門は環境法、野生動物法



村田 良介

公益財団法人知床財団理事長
前斜里町教育長、斜里町環境保全課長
・知床博物館学芸員などを歴任。環境
行政・教育行政に長く携わる



中川 元

公益財団法人知床自然大学院大学設立
財団業務執行理事・元知床博物館長
知床世界遺産地域科学委員会適正利用
エコツーリズム WG 委員

スケジュール

※実習では上記講師の他、現地の保全管理担当者にも指導をいただきます。

オンライン講義

1 日目 (7 日)

13:00 開講・ガイダンス
講義 1~4
~18:00 森林再生・
河川生態系復元

- ・知床の自然の概要と歴史・世界遺産
- ・森林再生の実際と知床 100 m²運動
- ・森林再生運動の課題と未来
- ・河川生態系の復元・生物相の復元

2 日目 (8 日)

13:00 講義 5~8
~18:00 ヒグマと人との関係

- ・ヒグマと人を巡る現状と課題
- ・野生動物・自然公園に関する法制度
- ・野生動物と人の共存・望ましい関係
- ・現地実習・演習で取り組む課題

知床実習

1 日目 (11 日)

8:15~ 受付
8:45 オリエンテーション他
午前 実習 1・2 森林再生の現場
(知床 100 m²運動地他)
午後 実習 3 ヒグマとの共存 1
(知床五湖他)

実習 1・2 では森林再生の現場を回り、
再生事業の実際と成果、公開や課題
について学び、将来を考えます。
実習 3 では知床五湖遊歩道のヒグマ
と共存するシステムを学びます。

2 日目 (12 日)

午前 実習 4 河川生態系復元
(岩尾別川流域他)
午後 実習 5 ヒグマとの共存 2
(河川流域他遺産地域内各所)
実習 6 関係機関の間取

実習 4 では河川工作物の改善と生物相
の復元、実習 5 では河川流域などでの
ヒグマと人との関係について現状を知
り、解決策を考えます。

3 日目 (13 日)

朝 実習 7 サケ類の自然遡上
(ウトロ周辺河川)
午前 ~ 演習 1 ワークショップ
午後 演習 2 提案の作成
(ホテル知床)

オープンキャンパス
= 提案発表・ディスカッション =
夜 交流会
(受講生・講師・関係者・住民)

演習では、講義と現地実習で学んだ
ことや聞き取り内容をもとにまとめ、
各グループで課題解決の提案を作成
します。オープンキャンパスでは提
案発表とディスカッション、講師講
評を行います。

4 日目 (14 日) の朝

8:30 閉会式
8:45 解散

参加申し込み先

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
e-mail : sizendaigaku@gmail.com
(知床ネイチャーキャンパス専用アドレス)

参加希望者は左記の専用 e-mail アドレスに、氏名、学校・会社名 (所
属)、連絡先 (e-mail アドレスと電話番号) をお送りください。
折り返し申し込みフォームをメールで送付します。